

公益社団法人日本精神保健福祉士協会 **更新研修** (2020 年度)  
**スーパービジョンのためのレポート**

氏名 \_\_\_\_\_ 本協会所属支部（都道府県）名 \_\_\_\_\_ 支部 \_\_\_\_\_

構成員番号 \_\_\_\_\_ 所属機関 \_\_\_\_\_

研修日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 会場 \_\_\_\_\_

**注意** 本レポートはグループ討議で活用するため、同グループ内の受講者に事前配布します。  
 Zoomでの演習という性質上、**回収はできません**。事例の記載等十分ご留意しご作成ください。  
 本レポートは裏面の「レポート記載要領」に沿って作成してください。  
 「レポート記載要領」の内容を確認された方は、右記、確認済を○で囲んでください。  
 確認済に○のないレポートは受け付けられません。

→ **確認済**

項目 1. 所属機関の概要と自己紹介
項目 2. レポートテーマ「 _____ 」
項目 3. 自身がとりあげたい実践・事例の概要について記入してください。
項目 4. この実践・事例を選んだ理由に、自身の考察を加えて記入してください。
項目 5. 当日検討したいことを記入してください。
項目 6. 個人情報記載の有無 <p style="text-align: center;"><b>有 ・ 無</b>（どちらかに必ず○。「有」の方は署名してください。）</p> <p>私は本レポートに登場する全ての方の個人情報の記載に関して、「本人の同意」の下での提出であることを自筆署名にて明示いたします。</p> <p style="text-align: center;">〔 受講者氏名署名（自筆） 〕</p>

※この書式は、<http://www.japsw.or.jp/ugoki/kensyu/2020/koshin.html> からダウンロードできます。

## ◆レポート記載要領（よくお読みください）◆

- 更新研修は、「(研修) 認定精神保健福祉士」となられてからの5年間の振り返りと、更新研修修了後の5年間で大切に過ごしていただくことに焦点をあて、自らの専門性の点検と実践課題の明確化、後進育成の役割などを、より意識していただく内容です。
- レポートは、「スーパービジョンのためのレポート」「演習のためのレポート」の2種類あり、申込書とともにご提出いただき、確認後に受講決定となる仕組みです。
- レポートは、「スーパービジョン (SV)」、「演習」のグループ討議で活用するため、同グループ内の受講者に事前配布します。どの方の(或いは全員の)レポートを検討するかは班内で協議いただきます。Zoom ミーティングでのSV・演習という性質上、回収はできません。ご作成の際は事例の記載などについて、十分ご留意ください(保管には参加者相互の守秘義務の徹底を呼びかけるとともに、提出いただいたレポートは本協会研修センターで厳重に保管します)。
- レポートの各発表時間は3～4分となっております。

## スーパービジョンのためのレポート

### 【作成上の留意点】

- 個別援助事例に限らず、地域活動や教育現場での実践等ご自分の日常的な実践を振り返りまとめてください。
- 本レポートは、事例検討ではなくSVのために作成いただくものです。
- 個別事例を提示される場合は、個人が特定されないよう加工するとともに、**必ずご本人の同意を得てください**(検討するテーマが個別事例としてまとめられていなくても、文中に特定の個人が取り上げられていると読み取れる情報を含む場合は、「自身の勉強のために利用者の情報を使わせていただく」という観点から「個人情報」に該当する扱いとします。またその他、特定の個人(例：実習生や職場の部下等)を取り上げた場合も個人情報として取り扱います)。そのうえで、同意を得ている旨をレポート書式の所定の欄に署名することで明示してください。**同意のない場合や加工が不十分なレポートは、再提出を求められることがあります。**また、再提出が2回以上となり、受講決定までに日数がない場合はご受講いただけない場合があります。
- 提出事例に関する説明と同意の義務および利用者に対する守秘義務は事例提出者に帰属します。本協会では責任を負いませんので、精神保健福祉士としての倫理を認識し適切な方法でレポートを作成してください。
- 「実践レポートの扱いに関する留意点」もご確認ください(生涯研修制度共通テキスト第2版「P184 図Ⅲ-31 より引用し一部改変」)。

#### 図Ⅲ-31 実践レポートの扱いに関する留意点

Point !

【利用者本人の同意を得ること】自身の勉強のために利用者の情報を使わせていただく意識を明確にもち、利用者に説明して理解を求めるとともに、ピア・スーパービジョンの参加者が同一職場でない場合、利用者の同意を得られないレポートは原則として提出しない。

【個人が特定されないよう加工すること】事例レポートには氏名・機関名・市町村名などのイニシャルを使わない。年齢は必要以上に特定できないよう「53歳 → 50代または50代前半」などと記載する。年号は「X年」「X-3年」などと記載する。

【レポートの管理に留意すること】ピア・スーパービジョン参加者に配付する資料は、終了後に提出者が回収、または参加者各自が厳重に保管、などを徹底する。

- 本レポートにおいて個別事例でのご提出が難しい場合は、精神保健福祉士の視点をもって日頃の活動の中で感じている課題を、一般化してグループ内で検討したい課題等にまとめてください。
- 〈項目1〉は、所属機関の概要と自己紹介です。機関種別・事業概要等・勤務形態・業務内容・経験年数などをご紹介ください。
- 〈項目3〉は、ご自身が考察・検討したいと感じている実践の概要です。所属機関もしくは地域でのソーシャルワーカーとしての実践・個別事例などをお書きください。
- 〈項目4〉は、このテーマ、実践・事例を選んだ理由と考察です。実践から気付かされた課題、葛藤、違和感、悩んでいる理由などに加えて、現状をあなたはどのように感じているのか、また精神保健福祉士の「専門性」および連携や協働などを含めた「実践」を今後どのように展開することで、状況の改善を図ることができるかと考えているのか考察を加えてお書きください。
- 〈項目5〉は、精神保健福祉士の視点から当日検討したいことについて記載してください。